



「我社のシンボル」 水野式自動三輪車

株式会社水野鉄工所

水野鉄工所のシンボルである水野式自動三輪車のご紹介をしたいと思います。創業者である水野忠一は水野式内燃機を自家考案の運搬車に備え付け、当時としては珍しいFF方式を採用した水野式自動三輪車を開発しました。



ピーク時には年間362台を生産し、シェアは9位/16社という記録が残っています。また、昭和13、14年頃には名古屋第三師団司令部より演習用の小型装甲車の発注を受け、3台製作して納入したという記録も残っています。しかしながら、昭和15年時局の緊迫化のため、水野式自動三輪車の製造は幕を閉じました。

単気筒エンジンから始まった水野式自動三輪車は最終モデルでは水平対向2気筒エンジンへと進化し前進3段、後進1段の変速機と組み合わせられて、悪路に強い「自動運搬車」として活躍したと伝えられています。

現在では水平対向2気筒エンジンを搭載したモデルが当社の事務所に、単気筒エンジンを搭載したモデルがトヨタ博物館に展示されています。

当社ならびにトヨタ博物館へご来場の際には、水野式自動三輪車をぜひご覧下さい。



～トヨタ博物館に展示されているモデル～



～当社に展示してあるモデル～